

神様の導きを信頼し続ける

ラリーがシステムの会社を経営していたとき、彼の会社に対して訴訟を起こした人がいました。ラリーの会社は無実でしたが、多くの人から和解の話し合いをするように勧められました。彼らの意見としては、例え不当な訴訟だったとしても、抗弁を続けることはとても大変で、なるべく早く和解するほうが得策だと語られました。

逆に、ラリーは神様に知恵と導きを頼みました。そのとき、ラリーは裁判で会社を守るようにと神様から語られました。なぜなら、悪いことをしていないからです。裁判費用は何百万ドルもかかりましたが、最後には会社が勝訴しました。

同時に、神様は裁判費用などほんの些細なものだと思えるほどの祝福を彼の会社にも与えてくれました。この困難な時を振り返って、逆境の中にあって会社が繁栄したという事実は、まさに神様に聞き従ったということの表れだ、とラリーは語っています。

難しい決断を迫られた時、聖書を読むことで神様からの助言を求め続けることが必要です。例えば、箴言 15:22では「よく相談しなければ、計画は倒れる。多くの助言者によって、それは成功する（新改訳 2017）」と記されています。けれども、すべてのアドバイスが正しいというわけではありません。私達は神様に直接話しかけ、その助言が神様の御心に反するようであれば、神様の指示に従わなければなりません。

友人は大切です。しかし、私たちが一番信頼している神様の助言の代わりにはなり得ないし、また取り違えるべきではないのです。イエスは弟子たちに彼のそばに居続けることの大切さを忠告しました。「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかえられます」ヨハネ 15:7。聖書はいつも、完全に神様を信頼することの大切さを明確に示しています：

分からなくても信じる。 時折神様はラリーに不当な訴訟において和解をしないようにと語ったように、私たちの意に反した決断を求めることがあります。

「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」箴言 3:5-6。

恐れの中にあっても信じ続ける。感情は私達を最短で最も簡単な解決方法に導こうとします。しかし、神様は私たちにとっての最善を用意してくださっていると信じることで、私たちが状況ではなく神様を見上げる勇気を得ることができるのです。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。――主の御告げ。――それはわざわざいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ」エレミア 29:11。

神様の方法が実現性がないように見えても、信頼しつづける。 もし、神様があなたに決断を求めているのであれば、周りが何を言おうと神様に信頼しましょう。

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。主は、あなたの義を光のように、あなたのさばきを真昼のように輝かされる」詩篇 37:5-6。

もっと深めるために：

- なぜ、人々はラリーの会社は無実だとわかっていて、ラリーに和解をするように勧めたのでしょうか？
- 周りの人が良かれと思ってアドバイスしてくれたことに対して、それと反する決断をすることは簡単ですか？難しいですか？それはどうしてですか？
- ラリーは自分がどうすべきかを祈り、そして周りの人のアドバイスに反する決断をしました。あなたも同じような経験をしたことはありますか？自分が直面している困難に立ち向かうためにどうやって神様の知恵とみこころを求め続けますか？
- 箴言 3:5-6 で語られる「自分の悟りにたよるな」をあなたはどのように理解しますか？不本意だったとしてもこのみ言葉を実践しなければならなかった時のことを思い出して、状況と結果を例をあげて教えてください。そこから何を学びましたか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：

詩篇 37:1-7・箴言 11:14・箴言 12:5・箴言 12:26・箴言 18:24・箴言 19:20・箴言 24:5-6。

この発行はリック・ボックスによって書かれた物であります。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930 年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者へイエス・キリストを宣伝する事を目的としています。©2019 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。